

一般会計 歳出

目的別グラフ

<b>民生費</b> 37億4,454万6千円(29.6%)	保育園や児童館の運営と子育て支援費 5億7,470万円
	後期高齢者医療費 4億7,053万円
	生活保護費 4億6,527万円
	介護保険特別会計繰出金 4億4,322万円
	障害者自立支援費 4億396万円
	乳幼児医療費助成などの児童措置費 3億9,072万円
	国民健康保険特別会計繰出金 2億8,921万円
	長寿福祉費 2億2,351万円
<b>総務費</b> 17億5,525万8千円(13.9%)	スパッシュランド、白石城などの管理運営 1億2,929万円
	ホワイトキューブのイベントや管理運営 1億2,106万円
<b>公債費</b> 17億4,004万1千円(13.7%)	
<b>衛生費</b> 16億1,939万3千円(12.8%)	予防接種、各種検診事業 1億4,582万円
	生活環境保全経費 9,198万円
	ごみ収集委託経費 7,630万円
	「シリウス」の管理運営 3,024万円
<b>土木費</b> 12億9,640万円(10.2%)	下水道事業会計補助金 5億6,724万円
	沖の沢郡山線街路整備 2億7,546万円
<b>教育費</b> 11億1,775万8千円(8.8%)	学校給食センターの管理運営 2億8,211万円
	教育施設の管理運営 1億1,401万円
<b>商工費</b> 4億4,295万8千円(3.5%)	
<b>消防費</b> 3億9,386万3千円(3.1%)	
<b>農林水産業費</b> 3億4,399万9千円(2.7%)	
<b>議会費</b> 1億7,475万5千円(1.4%)	
<b>その他</b> 2,522万6千円(0.3%)	

**一般会計歳出**

一昨年来の景気の低迷は、本市においても市税収入の減収にとどまらず、社会保障関係経費の増加など財政負担を押し上げる要因となっています。

このような状況の中、集中改革プラン「改訂版」に基づき、物件費などの経常的経費の縮減に努めながら、「4万人都市復活大作戦」の4つの柱「しあわせあふれるやさしまち しろいし」、「ろまんただよう城下町 しろいし」、「いきいきとのびゆくまち しろいし」、「しんらいとやすらぎのあるまち しろいし」を推進するメリハリのある予算を計上しています。

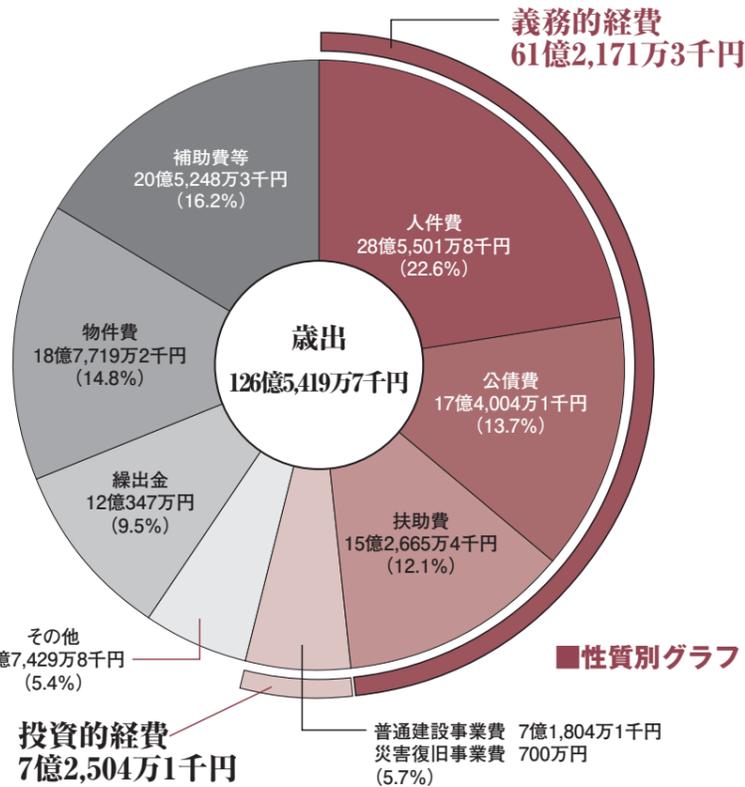
一般会計歳出

目的別歳出

民生費の割合が最も高く全体の29・6%を占めています。これは、介護基盤緊急整備等特別対策事業や介護保険特別会計への繰出金、広域連合への負担金や特別会計繰出金などの後期高齢者医療費関係費、障害福祉サービス給付費などの扶助費の増加に起因しています。

しかし、国民健康保険特別会計への繰出金が大幅に減額となったことなどから前年度比0・7%、2、505万円減少しています。

一方、衛生費は新型インフルエンザ対策経費や総務費から移行した白石市外二町組合負担金などが増額となったことなどにより、90・2%、7億6、792万円増加しています。



性質別グラフ

平成22年度一般会計予算は 126億5,419万7千円

実質規模で6年連続のマイナス予算

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた平成22年度予算総額は229億2,245万7千円で、前年度当初予算額と比較すると0.9%、2億550万3千円の減額となっています。うち一般会計は126億5,419万7千円で、前年度と比較すると2.6%、3億3,134万6千円の減額となり、実質規模では6年連続のマイナス予算となりました。

なお、一般会計予算の内容については、本市のホームページでもご覧いただけます。

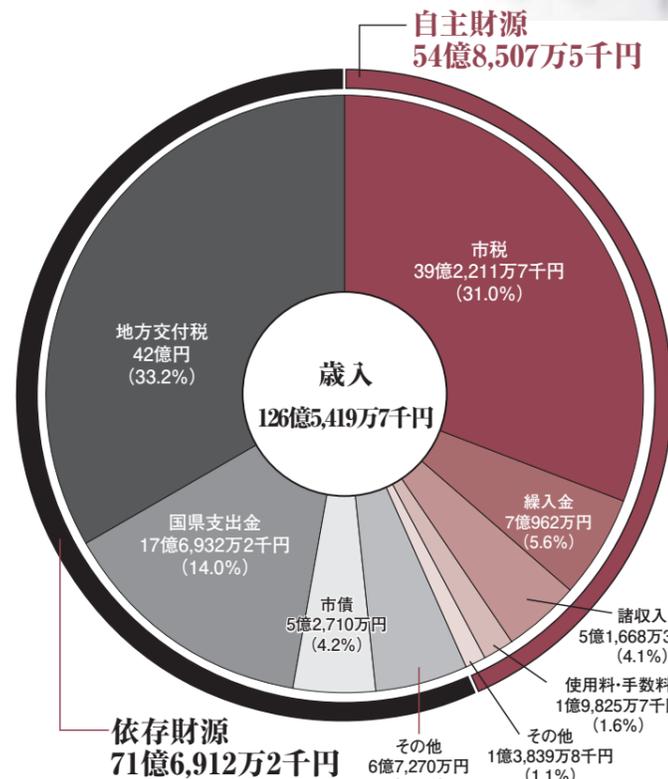
●ホームページURL <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/zaisei/yoosan/index.html>

問 財政課 ☎22-1332

一般会計 歳入

【一般会計】

市の会計の中心となるもので、市行政運営の基本的な経費を計上した会計です。市税などを財源として、社会福祉や環境保全などの事業のほか、学校や道路、住宅などの整備を行います。



一般会計歳入

一番大きい割合を占めるのが地方交付税(全体の33・2%)で、次は市税(31・0%)となっています。地方交付税は全国ベースで前年度比6・8%の増となっているものの、全国ベースの伸びとこれまでの交付実績などを考慮して、前年度比5・0%増を見込みましたが、市税は厳しい経済情勢を反映し、前年度と比較して2・5%、1億33万円の減を見込んでいます。

自主財源と依存財源

自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入する財源のこと。市税、分担金負担金、使用料・手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに当たり、歳入予算に占める割合は、43・4%で54億8,508万円に

財源が不足することから、臨時財政対策債を前年度比1億円増額したり、市の貯金に当たる減価基金などから7億962万円を取り崩したりするなど、厳しい財政状況となっています。

【特別会計】

72億5,938万円

特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。本市では5つの特別会計を設けています。

1. 国民健康保険特別会計

40億6,603万円

自営業など国民健康保険に加入している皆さまの病気、けがの治療などに必要な保険給付を行います。

2. 地方卸売市場事業特別会計

229万円

白石市地方卸売市場の光熱水費や修繕などを行います。

3. 老人保健特別会計

103万円

老人保健制度は後期高齢者医療制度に移行されましたが、医療給付支払い業務が本年度まで措置されます。

4. 介護保険特別会計

28億105万円

主に65歳以上で介護認定を受けた方が、介護サービスを利用したときの給付や、介護予防事業、総合支援事業などを行います。

5. 後期高齢者医療特別会計

3億8,898万円

75歳以上の方の医療給付が広域連合で運営されるため、主に徴収した保険料を広域連合へ納付します。

【企業会計】

30億888万円

独立採算を基本とし、地方公営企業法の全部または一部が適用される公営企業の会計です。

1. 水道事業会計

9億4,327万円

資本的支出 2億9,061万円

水道関係の各種手続き、水道施設の敷設や維持管理などを行います。

2. 下水道事業会計

8億9,596万円

資本的支出 8億7,904万円

家庭、工場の排水による水質汚濁を防止するための公共下水道事業や、農業用水の水質保全のための農業集落排水事業を行います。